

スクールライフ

令和３年９月２７日（月）

特別号

前期学校評価を受けて

内灘町立内灘中学校　校長　酒井　紀幸

２学期が始まり１か月が過ぎました。本校では、明後日には体育祭が行われます。各団のリーダーを中心に、全校生徒で協力して成功させようと、３年生は夏休み中から準備を重ねてきました。本来であれば、多くの保護者の皆様にご来場いただき、子どもたちのはつらつとした様子を観ていただきたいところですが、コロナ感染症対策のため、今年度は３年生の生徒（１世帯）につき保護者１名のみのご来場とさせていただいたことをとても心苦しく思っています。

当日ご来場いただけない保護者の皆様においては、昨年同様、金沢ケーブルテレビでの放映とクロームブックでの動画配信、および学校ホームページで活動の様子をご覧いただく予定をしておりますので、何卒ご理解をいただきますようお願いいたします。

さて、保護者の皆様のご意見をお伺いしながら、学校・家庭・地域が一体となった、より効果的な教育活動を推進するために、１学期末に「本校の教育活動に関するアンケート」を実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。

このスクールライフ特別号では、保護者の皆様にぜひお知らせしたい項目を取り上げて記載させていただきました。今後、この結果をもとに、よりよい学校づくりに努めていきたいと考えております。





生徒と保護者の主な共通項目



	質　問　項　目	生徒	保護者
①	学校が楽しい	８８％	８９％
②	部活動に意欲的に取り組んでいる	９７％	９３％
③	計画を立てて勉強している	７６％	９２％
④	毎日朝食を食べている	９７％	９５％
⑤	将来の夢や目標を持っている	８４％	６９％

③について

肯定的な回答の割合は、生徒・保護者ともに昨年度同期の数値を上回りました。（生徒：+６ポイント、保護者+２９ポイント）

確かな学力に結びつけていくためには、家庭学習が欠かせません。定期テスト前には、生徒自身で学習計画を立てたり、学年ごとに質問教室を設け、個別に質問ができる機会をつくったり、放課後に全校一斉に学習に取り組む時間を確保したりするなどしながら、家庭学習に向かう意識を向上させて、習慣の定着に向けて取り組んで

います。また、１，２年生では、家庭学習ノートを活用し、より効果的な学習に向けて取組を実践しているところです。

計画的に学習を進めるためには、規則正しい生活リズムが基盤となります。内灘中学校では、『３点固定（起床時間、家庭学習を始める時間、就寝時間）の取組』をすすめています。今一度、学校や家庭での過ごし方を見つめ、規則正しい生活習慣を身につけていきましょう。また、ご家庭におかれましても、学習習慣の定着に向けた子どもたちの頑張りを後押しする言葉かけをお願いいたします。

⑤について

肯定的な回答の割合は、生徒・保護者ともに昨年度同期の数値を上回っています。特に生徒アンケートでは、昨年同期より１３ポイント上昇しました。コロナの影響が出始めた昨年は、なかなか夢や目標を持つことができなかった生徒も、家庭・学校生活を通して徐々に自身の目標に向かって歩み始めています。言葉に表さずとも、心に秘めた夢や目標を、ご家庭と連携しながら応援していきたいと考えています。

生徒の主な項目



	質　問　項　目	生徒
①	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う	９４％
②	授業のルールをしっかり守って取り組んでいる	９６％
③	先生方は、意見や思い、悩みを聴いて対応してくれる	９２％
④	自分にはよいところがあると思う	７９％
⑤	先生は、あなたのよいところを認めてくれている	９２％
⑥	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	９９％

④について

昨年度同期の数値を６ポイント上回りました。学年別にみると、１年生は７４％、また２年生は昨年１年時の７１％から７９％、３年生は昨年２年時の７７％から８４％に上昇しました。

学校では、生徒たちが友だちや教師から褒められたり、認められたと実感できるような活動の場の工夫や、生徒の頑張りが見える掲示物の作成などを通して、「自己の成長」や「自分のよさ」を自覚し、小さな成功を積み重ねることで自信を持つことができるよう、生徒の育成に一層努めていきます。

⑥について

本校では、『いじめ根絶プロジェクト』として、生徒による啓発活動をはじめ、道徳授業の充実など、いじめの未然防止に向けて、積極的に取組を推進しているところです。また、全校生徒を対象に、「いじめアンケート」を定期的に実施し、実態把握に努めています。

直接的な言葉や態度、身体的ないじめのみならず、近年はＳＮＳによるいじめも全国的に問題となっています。「いじめられる側にもそれなりの理由がある」などということは間違いです。いくら軽い遊びや悪ふざけ、冗談のつもりでも、いじめられる側の苦しみ、痛みは深刻であることを理解させ、いじめることは決して許されないことであり、周りではやし立てたり傍観したりすることも同じである、ということを学校や家庭の中できちんと話し合うことが必要です。

保護者の主な項目

	質　問　項　目	保護者
①	学校は、生徒のことについての連絡や相談に適切に応じてくれる	９３％
②	学校は、生徒の努力を適切に評価している	９３％
③	学校は、進路に関する指導（進路説明会・職業調べ等）や情報提供を適切に行っている	９２％
④	学校は、各種便りや学校 HP 等で、学校や子どもたちの様子を保護者や地域へ分かりやすく伝えている	９５％
⑤	学校を信頼して子どもを預けている	９６％
⑥	わが子はテスト前のﾉｰﾒﾃﾞｨｱﾃﾞｰに意識して取り組んでいた	５１％

④について

今年度も本校ホームページをはじめ、学年だよりや各種たより、メール配信などを通して、学校や生徒の活躍を中心に、可能な限り多くの情報を提供できるように努めています。配付された各種通信等がお子様を通じて確実にご家庭に届いていない場合があるようですので、ご確認していただければ幸いです。

⑥について

定期テスト前はテレビ・パソコン・ケータイ・ゲーム等、メディアの使用を禁止する「ノーメディアデー」を設定し、集中して学習に取り組むように子どもたちに働きかけをしています。しかし、肯定的な回答が、保護者アンケートでは５１％、生徒アンケートでは８１％と低いことから、実行率は低いと考えられます。

家庭学習の環境づくりには家庭との連携が必要です。各ご家庭においても、子どもたちの頑張りを後押しする言葉がけをお願いします。

※以上、数値はアンケート回答の「1そう思う」「2大体そう思う」の合計の割合（肯定的評価）で示してあります。

保護者の皆様からのご意見より

Chromebook（タブレット）の活用方法がよくわかりません。例えばClassroomにアップロードされた課題しか取り組むことはできないのでしょうか？検索などに使用することはできますか？

国が推進する「ＧＩＧＡスクール構想」に伴い、本校でも１人に１台のタブレット端末（Chromebook）が導入され、現在、必要に応じて授業で活用しているところです。

これまで二度ほど、お子さまがタブレット端末をご家庭へ持ち帰り、行っていただいたWi-Fiの接続確認や各種アンケートへの入力、オンライン登校についてもこの「Classroom」内で実施してきました。また、各クラスの生徒と教員が課題等のやり取りをしたり、学校行事の動画などを閲覧したりすることも「Classroom」内でできます。

一方、内灘町では学習支援ソフト『ミライシード』を活用することができ、本校でも既にこのミライシードを使って授業を行っている教科もあります。ミライシードには『ドリルパーク』があり、学年別・教科別のドリルを自由に選んで学習することができ、Chromebookからアクセスして学習に活用いただけます。

Chromebookでの検索については、一部制限がかかっていますが、学習に関わる内容については概ね可能です。

テスト前の勉強する時間の強制（目標設定）はやめていただきたい。

本校では、定期テスト（中間・期末）前に、各学年で家庭学習時間の努力目標（学年によっては生徒が自分で学習時間を選ぶ）を設定し、この期間、集中して学習に向かう取組を行っています。

学力を向上させる上で、「学習体力」（勉強し続ける体力）は必要不可欠なものであると考えています。それは先に控える高校受験や、さらには自己実現に向けての土台となるものと言えます。

学習体力を高めていくには学習「量」と「質」のバランスが大切であり、目に見える量（時間）を努力目標に据えながら、学習の質の向上に向け指導に当たっています。

改めて、学年に応じて、学習時間を増やすことだけではなく、かけた時間の内容にもこだわれるように、機会を捉えながら指導に務めていきます。





令和3年度　前期学校評価アンケート結果（7月）

S＝生徒　P＝保護者　（数字は、そう思う・大体そう思うの合計の割合）

＜確かな学力の向上＞		R3前期
S	定期的な漢字・英単語テストにしっかり取り組んでいる	94%
S	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う	94%
S	授業は分かりやすい	94%
P	学校は、分かりやすい授業づくりや学力向上に努めている	94%
S	授業のルールをしっかり守って取り組んでいる	96%
S	自分で計画を立てて勉強している	76%
P	わが子は、自分で計画を立てて勉強している	92%
S	目標の時間以上の家庭学習をだいたいしている	74%
P	わが子は、家庭学習の目標の時間がほぼ達成できている	53%

＜生徒指導の充実＞		
S	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	99%
S	先生方は、意見や思い、悩みを聴いて対応してくれる	92%
S	自分にはよいところがあると思う	79%
P	学校は、いじめや不登校等の問題の解決に向けて積極的に取り組んでいる	89%
P	学校は、「はまなす」等で生徒を理解するように努め、一人一人に応じた指導に心がけている	90%
S	きちんとした生活習慣や態度（時間を守る・服装等）に心がけている	92%
S	学校でしっかりとあいさつをしている	95%
P	わが子は、家庭であいさつをしている	88%
P	学校は落ち着いて生活や学習に取り組める雰囲気になっている	91%
S	ルールを守り、正しいことを進んで行おうとしている	96%
S	先生は、あなたのよいところを認めてくれている	92%
P	学校は、生徒のことについての連絡や相談に適切に応じている	93%
P	学校は、生徒の努力を適切に評価している	93%

＜豊かな心の育成＞		
S	人が困っているときは、進んで助けている	95%
S	学校で命の大切さや人権について学ぶ機会がある	97%
P	学校は、道徳の授業を中心に豊かな心や感性を育むよう指導している	93%
S	進んで読書をするようにしている	78%
S	部活動に意欲的に取り組んでいる	97%
P	わが子は、部活動に意欲的に取り組んでいる	93%
S	行事や生徒会活動、学級活動に積極的に取り組んでいる	92%
S	学校行くのが楽しい	88%
P	わが子は、楽しそうに学校へ通っている	89%
P	わが子の学級は雰囲気が良く、友達と仲良く活動している	94%
S	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある	91%
S	進路学習を通して、自分の将来や進路について考えるようになった	90%
P	学校は進路に関する指導（進路説明会・職業調べ等）や情報提供を適切に行っている	92%
S	内灘中学校の生徒であることをよかったと思っている	93%
S	将来の夢や目標をもっている	84%
P	わが子は、将来の夢や目標をもっている	69%

＜安全指導と健康づくり＞　□		
S	学校生活で安全に注意しながら行動することができた	96%
P	学校は、交通安全や不審者対策などに危機意識をもった取組をしている	96%
S	朝食を毎日食べている	97%
P	わが子は家庭で毎日朝食を食べている	95%
S	生活習慣(食・睡眠等)に関心を持ち、自分の健康に注意している	93%
P	わが子は家庭できちんとした生活習慣が身についている	74%
S	清掃に積極的に取り組んでいる	94%
S	地域や社会をよくするために何かをすべきかを考えることがある	82%
S	人の役に立つ人間になりたいと思う	97%

＜開かれた信頼される学校づくり＞		
P	学校は各種便りや学校HP等で、学校や子どもたちの様子を保護者や地域へ分かりやすく伝えている	95%
P	学校から出しているお知らせやたよりに目を通している	92%
P	学校は、電話や訪問等での応対は適切である	97%
S	今住んでいる地域の行事に参加している	66%
P	学校を信頼してわが子を預けている	96%

＜その他＞		
S	メール・ネットに関する内中ルールを守るように心がけている	92%
P	わが子は、メール・ネットに関する内中ルールを守るように心がけている	79%
S	テスト前のノーメディアデーを意識して家庭学習に取り組んだ	81%
P	わが子は、テスト前のノーメディアデーに意識して取り組んでいた	51%